

第20回 若手砂防・土木技術者のための奥飛騨研修会

公益社団法人 砂防学会 事業部会

近年、河川や砂防に関する技術的課題に対して、種々の観測技術やシミュレーション技術が発展し、より科学的な根拠に基づいた砂防事業の展開が可能となりました。砂防事業において最新の技術を適切に活用するには、現地の状況や問題を見る目を養うことが必要と考えます。このような背景から砂防学会では、日本有数の山地荒廃地域である奥飛騨にて、山地流域における土砂動態やそのモニタリング、また多種多様な砂防施設の機能と課題などに関する現地研修会を毎年企画しています。本年度は、流砂観測技術をテーマとして実施予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

主催：（公社）砂防学会

共催：京都大学 防災研究所附属火山防災研究センター 穂高砂防観測所

後援：国土交通省北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所

国土交通省北陸地方整備局 松本砂防事務所

一般財団法人 砂防・地すべり技術センター

一般財団法人 砂防フロンティア整備推進機構

NPO法人 山の自然文化研究センター

開催日時：2026年8月26日（水）～8月28日（金）

場所：中尾公民館（岐阜県高山市奥飛騨温泉郷中尾351（京都大学防災研究所 穂高砂防観測所近く））

高原川流域（岐阜県高山市奥飛騨温泉郷）

梓川流域（長野県松本市安曇上高地）

※悪天候の場合、中止にする可能性があります。その場合事前にメールにて連絡いたします。

定員：60 名程度

内容：

1日目：共通プログラム

13:00～13:30 受付（中尾公民館）

13:30～13:40 開催挨拶

13:40～14:10 砂防技術・研究の伝承に関する講演

ハイドロフォンで掃流砂量を測りながら流砂全体を把握する（京都大学・藤田正治名誉教授）

14:10～14:30 休憩

14:30～16:50 流砂観測技術に関する講義

流砂観測の目的および活用方法について（国土技術政策総合研究所・奥山悠木氏）

現場で測る、民間での取り組み（日本工営株式会社）

・現場で測る（伊藤隆郭氏）

・水位と流速を測る：各種非接触センサーの比較（渡部春樹氏）

・濁りと輸送を測る：ヒル谷排砂における浮遊土砂の伝搬観測（木佐洋史氏）

・UAVで河床変動を測る：数cmの河床変動を空から捉える（倉上健氏、高木優氏）

・音響で掃流砂を測る：コチコチ試験（橋本憲二氏、保谷智之氏）

土砂動態を把握するための地形計測技術（アジア航測株式会社 岡野和行氏）

休憩

電極板を用いた流砂観測技術（信州大学・堤大三教授）

TDRを用いた流砂観測技術（京都大学・宮田秀介准教授）

16:50～17:00 事務連絡

2日目：現地研修会

Aコース 「焼岳地域での砂防施設・観測施設の見学と流砂観測技術を学ぶ」

09:30～12:00 神通川水系砂防事務所管内の砂防施設の見学と流砂観測技術の研修

※参加者のレンタカー等に同乗して移動

12:00～13:30 途中各自昼食

13:30～16:00 穂高砂防観測所の流砂観測施設の見学と観測流域における流砂観測技術の研修

※徒歩で移動

Bコース 「上高地における土砂移動の実態とその観測技術、土砂流出対策技術について議論する」

09:00～15:00 梓川の土砂動態の実態と、松本砂防事務所の土砂移動観測技術に関する研修

※昼食は行動食等を持参ください。

※あかんだな駐車場に集合し、公共バスにて移動

A・Bコース終了後

17:00～

砂防に係る技術者と学生の交流会

※穂高砂防観測所において、参加費制

3日目：共通プログラム

9:00～12:00 穂高砂防観測所ヒル谷試験堰堤からの排砂に伴う土砂移動現象の観察と流砂観測技術の現場研修

12:00 解散

CPDについて

本研修会は建設系CPDの対象となる予定です。

宿泊に関するご注意

- ・各自で宿の予約・支払いをお願いいたします。奥飛騨温泉郷中尾温泉 (<https://nakao-onsen.com/nakaokougen/#oyado>) が最寄りの宿泊地になります。穂高砂防観測所、中尾公民館へは徒歩での移動が可能です。複数の宿泊施設がありますが、ハイシーズンのため早めの予約をお勧めします。
- ・2日目の交流会では食事・アルコールも提供いたします。交流会に参加される方は、2日目の夕食を予約されないようご注意ください。また、飲酒運転防止のため、交流会後は徒歩で宿まで移動いただく等、移動方法にご配慮ください。
- ・中尾温泉の宿泊施設の部屋数には限りがありますので、可能な範囲で相部屋（複数人一部屋）にてご予約いただきますよう、お願いいたします。

アクセス情報（移動手段に関するご注意）

- ・中尾高原へのアクセスは下記をご参照ください。
<https://nakao-onsen.com/access/>
- ・中尾公民館の最寄りバス停は中尾高原口（徒歩急な上り坂2kmぐらい）あるいは中尾焼岳登山口（徒歩2分）です。濃飛バス平湯・新穂高線の乗り合いバスに高山バスターミナルか平湯バスターミナルからご乗車ください。中尾焼岳登山口は停車する便が限られますので、時刻表をよく確認ください。<https://www.nouhibus.co.jp/media/2026/04/55f7ce586fe162c54b178cf90a1cc74c.pdf> また、このバスにご乗車する際、中尾焼岳登山口で降車することを運転手に申し出てください。
- ・中尾高原口から中尾公民館まで車で送迎できます。送迎をご希望の方は、事前にその旨を下記連絡先にご連絡ください。できるだけ中尾高原口13:07着の便でお越しください。
- ・レンタカーで参加される方々には、現地見学时に同乗をお願いすることがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

費用について

参加費：無料（Bコース参加者はコースで使用するバス料金は各自お支払いください）

交流会参加費：社会人5000円程度、学生1000円程度（予定）

障害保険料：実費を徴収します。数百円程度です。

参加の申し込みについて

下記のURLからお申込みください。

<https://forms.gle/XSdTXmDUx2DEcQbg6>

準備の都合上、申し込み期限を7月24日（金）とさせていただきます。応募多数の場合は、これまでの研修会への参加経験の有無や所属先などを勘案して主催者側で参加者を決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

連絡先

京都大学防災研究所 穂高砂防観測所

高山 翔揮

E-mail: takayama.shoki.3z@kyoto-u.ac.jp

TEL: 0578-89-2154

山野井 一輝

E-mail: yamanoi.kazuki.6s@kyoto-u.ac.jp

TEL: 075-611-4397